

2020~2021年度 主題

国際会長(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)  
主題: "VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP" 「価値観、リーダーシップ、エクステンション」  
Slogan: "TRUST IN THE RIVER OF LIFE" 「命の川を信じよう」  
アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)  
主題: "Make a difference" 「変化をもたらそう」  
Slogan: "INSPIRE" 「奮い立たせよう」  
西日本区理事(RD) 古田 裕和 (京都トウビー)  
主題: "Let's do it now !." 副題: "2022に向け誇りを持って All is well. "  
京都部部长(DG) 中村 隆司 (京都ウエル)  
主題: 「人生は一度きり」 ~ 出会いから全てが始まる ~

強調月間

Menettes の月

京都ワイズメンズクラブ 第73代会長 坂口 大輔  
主題: 「未来に繋がる形作りを」

今月の聖句

主は言われる。「私があなたたちのために建てた計画は、平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」  
(エレミヤ29:11-14)

希望は人への優しさの一つだ。「きっと大丈夫」と言われれば、元気になる人もいるだろう。けれども、余りに表面的な言葉では、力を持たない。口先だけの言葉には、誰も信用を置かない。だから、希望の言葉には、次の言葉が付き物だ。「私も一緒に歩むから。」希望は、誰かと一緒に抱くから、力を持つ。希望は、誰かにあげるだけのものではない、自分だけが持つべきものではない、希望はみんなで持つものなのだ。状況は決して明るくない。明るい未来はすぐには来ないし、簡単には実現しないだろう。どんなに困難な道のりでも、それがみんなで共に歩むものならば、そこには希望が生まれる。そして希望は私たちを、励まし、慰め、力を与えてくれる。

日本聖公会 京都聖マリア教会ミカエル 藤原健久

入会3年目~ワイズ道修行真っ盛り

京都ワイズメンズクラブに入会して早2年が経ちました。私には2人子供がいます。長女が7歳(今年10月で8歳)、長男が2歳(今年12月で3歳)で、入会当時まだ長男は生まれておらず、入会までに参加させていただいたリトセンでの野外ファミリー例会は、長女と妻と参加させていただきました。

入会するちょうど1年前に、勤め人を15年した後、自営にて行政書士事務所を開業し、経営について右も左も分からぬまま、いささか見切り発車した感で、勢いだけで走り回っていました。「経験豊富な経営者がいるから、ボランティア活動しながら、仲間を沢山作りましょう」と同じ京都ワイズの先輩合田ワイズに誘われ、ワイズメンズクラブの活動に参加しました。最初の頃は、例会に参加してもなんとなくとしかわかっていなかったと思います。

2年経ち、3年目とは言え、まだまだワイズメンズクラブのことは十分に理解していません。子供でも3歳と言えば、ちゃんとまだ物心もつかない年齢だと思います。今はまだ、先輩方のお話されている内容をしっかり聞いて、役員会や三役会に参加させていただき、クラブの活動がどんな風に運営されているのか「肌で感じている」状態です。まだまだわからないことばかりですけど・・・。幸い、妻の理解もあり、小さい子供がいながら、

時間の許す限り、その活動に参加することができています。子供たちもリトセンやサバエキャンプ場のように自然いっぱいの環境を好み、チャーム多文化キャンプや夜桜フェスタといった事業活動にも一緒に付いて来たりします。

まだたった2年ですが、内容が濃すぎて、参加していた一つの活動を振り返ることができないくらい目まぐるしく時間

が過ぎていきました。それでも1年目より、2年目、2年目より3年目といった風に、少しずつ段々と京都クラブのことやYMCAのことがわかり始めてきました。2年目に書記をさせていただき、1年間の活動の流れも分かってきました。これからようやく物心つき始める頃でしょうか!!

今年に入って、コロナ禍のため、いろんなワイズの活動が中止され、すごく残念で、寂しい気持ちになります。本来(私が勝手に思っていることですが・・・)ワイズの活動は、世代間分け隔てなく仲間が集い、お互い力を合わせて、一緒に汗を流して活動をし、同じ釜の飯を食べ、酒を酌み交わし、尽きることなくいろんな話をし、わいわいがやがや楽しく過ごす場所だと思います。

コロナが一体いつ収束するかは分かりませんが、早く普段の日常に戻って、ワイズの活動を十二分に楽しみたいです。



8月の在籍者数 29名(内功労会員1名)  
納涼例会出席者 20名 ゲスト 1名  
メンバー 3名 8月出席率→82.8%  
7月出席率全メンバー算入後結果→93.1%

ニコニコ  
8月分 0円  
累計 10,000円

クラブファンド  
8月分 円  
累計 円

BFポイント  
切手  
累計



## 鴨川の涼風と京随一の中華料理でEMC納涼例会 8月11日(火)



8月11日火曜日はEMC納涼例会ということで、定例会場の日航プリンセスホテルを出て四条大橋畔・東華菜館の広～い鴨川床で、例会参加3回目の入会候補、三宅周平さんをゲストに例会が行われました。

東華菜館は、西洋料理店「矢尾政」の二代目店主浅井安次郎氏が、大正15年に新しいビアレストランをイメージして、その設計をウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏に依頼して建てられたそうです。その関係もあって石若ワイズの口利きで無理を言って安くしてもらいました。お店に入ってすぐにあるインパクトのあるレトロなエレベーターも運転手による手動式で、珍しい格子の扉がついていて現存する日本最古のエレベーターだそうです。

例会場の鴨川納涼床は、広々として野外で換気不要、コロナ飛ばしの川風が心地よく吹いて、これなら問題なさそう。坂口会長の元気な開会宣言で始

まり、夏の暑さとコロナの不安を吹き飛ばす乾杯後は、おいしい北京料理と一緒にビールがどんどんメンバーのお腹に吸い込まれていきました。抽選会には大田ワイズの計らいで黒主山のマスクと手ぬぐいが景品として出品されました。当選された皆様おめでとうございます。



二次会は最近入会の竹花ワイズと宮脇ワイズ、再入会の石若ワイズ、3名まとめでの歓迎会、そして坂口新会長の激励会を兼ねて隣のハイボールバーで行われました。2時間で数種類のハイボールとカクテルの飲み放題で、京都クラブのメンバーはまだまだ容赦はしません。何種類ものハイボールがテーブルに運ばれます。これには新入会のメンバー達も驚きを隠せません。

ほんとに楽しかったと話してくれた三宅周平さんは来週のオリエンテーションを経て近日入会式の予定。コロナに負けずに京都クラブメンバーはこれからも楽しく頑張ります。



## アフタースクール（放課後児童クラブ）って知ってますか？

1960～70年代のYMCAをご存じの方がおられましたら、その頃全国YMCAを風靡した「オールラウンド・グループ」というプログラムをご記憶かもしれません。まだ体操教室やスイミングクラス、サッカーや日常野外活動など、青少年の活動が種目／領域に細分化される前のことです。

オールラウンド・グループの意味内容は、その名称にあらわれていました。プログラムはオールラウンドに、趣旨はグループ活動だった、ということです。敗戦後、多くのキリスト教指導者らが民主主義を身につける教育手法として「グループワーク」を学びました。それがしばらくの時差をへて青少年活動現場へ浸透した結果、オールラウンド・グループ興隆を招来した、と考えています。

現在も細分化されながらも「グループ活動」の趣旨は、ユーススポーツや野外活動などすべてのYMCA青少年活動に受け継がれています。いわば「選手」である前に「個人」として、子どもらがグループのなかで人との関係づくりを学ぶ意図を、YMCAリーダーたちは知らず知らず継承しているからです。

そこへ、学童保育という新たなニーズが起きました。女性の社会進出や経済構造の変化に伴い、共働き家庭が増えたことが背景にあります。全国のYMCAもこの新たなニーズに呼応し、アフタースクールはユーススポーツ、キャ



本紙4ページにも写真が掲載されています。

ンプ／野外活動などと並ぶ、青少年対象の目玉事業のひとつになりました。京都YMCAは全国にやや遅れをとりましたが、2015年度からアフタースクール事業に乗り出しました。そうして私（遠藤）が当該事業に携わったのは、2017年度です。

私自身は、直接オールラウンド・グループを知りません。YMCAの諸先輩から聞いたり読んだりして、いわば「歴史」として知っただけです。しかし、関わり始めて直観しました。これは、形を変えたオールラウンド・グループの再来ではないか、と。

ここには、目に見える体力的・技術的向上をはかる物差しはありません。各自の勉強をサポートしていますが、偏差値競争が趣意でもありません。ここにあるのは、長い時間をともに過ごしていくそのなかで自己主張し、人と葛藤し、話し合い、折り合い、着地点を一緒に見出していく、そのものずばりの「グループ活動」です。

子育て支援という、個別家庭から出て行政が推進するにいたった社会的ニーズに応える役割はもちろん、YMCAが歴史的に担った「グループ活動」という使命そのものを21世紀化して提示しうる、新しいオールラウンド・グループ。それがアフタースクールだととらえながら、日々取り組んでいます。  
(京都YMCA事業部・遠藤 浩)



## シリーズ自己紹介

## “京阪神三都ワイズ制覇”

廣島義夫

1935年生まれの熟し切った老年。大阪の天王寺区に生まれ、太平洋戦争が始まった頃に戦火を避けて、滝と紅葉で有名な郊外の箕面に移転して成人。

両親ともに医者がらみだったので、抵抗なく医学部に進学したが、今一つ気が入らず、植物学を教わっていた梅棹忠夫先生にもアドバイスを頂き、心理学科で社会心理学に転向。当時は産業心理学が盛んで、たまたま担当教授が相談役をされていた関係で卒業後は日本生命に入社。そこで定年まで勤めあげた。

趣味は映画と読書で、一時は年間映画100本・読書70冊といった頃もあったが、最近目は悪くなって情け無いことにどちらも全然ダメ。

結婚後、大阪市内に住んでいた1974年に、子どもを行かせていた大阪南YMCAで大阪サウスクラブに入会。その後、神戸に引っ越し、1988年に神戸ポートクラブのチャーターメンバーに。更に京都に転居して、2000年に京都クラブに転入。これで、ワイズの三都制覇を達成。ちなみにメネット・喜子も独身時代から、レコード音楽を鑑賞する大阪Yのディスククラブのメンバーだった。

私にとってワイズは、手近な広場。気が晴れていようと萎えていようと、ブラッと訪れて、色々な人に会える、話が出来る、話が聴ける、心の安らぎが得られる、そんな場所だ。そんな私を喜ばせるためにも、バラエティに富んだ広場、男女ごちゃ混ぜの広場になって欲しいと切に願っています。



## シリーズ自己紹介

## “大事にしたいご縁”

金澤市郎

私が京都クラブに入会したきっかけは、当時、地元・高槻でとある団体の広報紙を作っていて、その作業を見ていた高井さんにパソコンソフト「パーソナル編集長」が役に立つかもしれないと誘われ、京都YMCAで三井ワイズが講師となって開いたソフトの講習を受けたことです。自分なりに勉強しましたが効果は抜群でした。作業時間は2割ほどになったのでとても楽になったこと、そして綺麗に仕上がるようになり、出会いと共に感謝です。

昨今は新型コロナ禍をきっかけとして西日本区内である名古屋、富山から鹿児島までの方、約10数名と毎週のようにZoomを利用して会話を楽しんでいます。西日本区の国際・交流主任を経験したことで多くのメンバーと知り合えたことがこれに繋がっています。

現役時代は営業倉庫に勤めて、加工食品、反物、ファッション製品、お米等、その他様々な商品を扱ってきましたので浅く広く知識も得たつもりです。食糧保管技術研修修了、倉庫管理指導員認定、またフォークリフト運転技術講

習も修了しました。その間の取引先や同業他社の方のお付き合いは今でも続いており、社内外の皆さんにお世話になったことが思い出されます。

現在はマンションの管理をしており、休みの日は家内と一緒に約100坪の菜園で色々なものを作って忙しくしています。以前は20坪ほどで作っていたのですが、縁あって今の場所になって5年になります。一番多く作っているのが玉葱ですが、種類を数えると年間40を超えました。スイカやイチゴは特に孫達が喜んでくれるので頑張っています。大変なのは畑の草取り、周りの草刈り、虫や獣対策です。加えて気象の影響もあります。ほとんどの物は1年に1回しか作らないので、良くても悪くても1年に1回しか経験できないのですから本当はきっちり記録することが大切なのでしょうけど、時間のあるときしか行けないのでいい加減になっています。

虫や獣との出会いはお断りですが、人とのご縁は大事にしたいものです。





**1.活動継続支援寄付金のお願い**

京都YMCAでは、新しい生活様式を取り入れながら、地域で暮らす子どもからご高齢の方、そして留学生、一人でもたくさんの方に、より良い学び・体験・つながりの場を提供すべく、活動に取り組んでいます。既に多くのワイズメンに個人や会社の名義、クラブ単位等でご協力いただいておりますが、まだという方は活動を継続していくための寄付金にみなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。

振込先：(京都銀行 本店)普通口座 721365  
 京都YMCA(キョウトワイエムシーエー)  
 (ゆうちょう銀行)郵便振替 01030-6-733  
 京都YMCA ザイ)キョウトワイエムシーエー

**2. 京都YMCA国際福祉専門学校**

**介護福祉学科 オープンキャンパスのお知らせ**

日時：9月26日(土)午前10時～12時 癒しの技術 ハンドケア  
 場所：京都YMCA Tel: 075-255-3287

申込：参加ご希望の方は、お電話にてお申し込みください。

**3. YMCA三条保育園入園希望者説明会のお知らせ**

日時：11月21日(土)午前10時～11時30分

9月、10月の説明会は定員に達しましたので締め切りました。

場所：京都YMCA

申込：参加ご希望の方は、お電話もしくはメールにてお申し込みください。

Tel: 075-254-8131

E-mail: hoikuen@kyotoymca.org



**役員会報告**

2020-2021年度 第73期 8月度役員会  
 8月4日(火)19:30～ 於三条YMCA  
 出席役員：15名 欠席役員：3名

**<議案>**

- 一、三保ワイズ休会承認申請の件…承認
- 二、嶋田ワイズ6月末退会届の件…承認

**<報告事項>**

- ①相原ワイズ…新型コロナ対策で、医療関係者として職場から例会等多人数の集会は欠席するよう指示を受けているので欠席が続く。

**<各事業委員会報告>** 委員会日程は別紙日程表を参照ください

- Yサ・ユース**：・7/26、京都クラブ独自のリトセンワークを行った。  
 ・8/6の委員会でこれからの活動について話し合いたい。
  - CS・環境**：・12/6に予定していた、いのちの電話コンサートも中止になった。
  - EMC**：・三宅周平さんのオリエンテーションの予定は8/18の役員会時または8月のEMC委員会時。  
 ・オリエンテーションの資料を新しくした。会費等支払い方法についても詳しく説明したい。  
 ・EMCお楽しみ会を開催したいが、新型コロナ禍で難しい状況。
  - ドライバー**：・8月例会の会場、及び歓迎会の会場のコロナ対策については、調査の上、メーリングリストで報告する。
  - 国際・交流**：高田ワイズが8月旅の途中でDBCの十勝クラブを訪問予定。メンバー宛の御土産を託した。
  - ブリテン**：9月号から自己紹介の記事を載せる。引き続き全員掲載予定なので参考にしてほしい。
  - 広報**：・ホームページの表紙等を坂口会長バージョンにした。  
 ・7月キックオフ例会の写真と8月号のブリテンもHPIにアップした。  
 ・8/4には7月例会の動画もHPIにアップした。
  - ファンド**：・日本手ぬぐい製のマスクを1,000円で販売予定。
- \* 次回の役員会は9月1日(火)19:30～ 於三条YMCA



**京都YMCA アフタースクール**



京都クラブのブリテンは、コスト削減のためパソコンで編集し、クラブ所有のレーザープリンターで450部手作りで作製していましたが、数年前から印刷をネット印刷に変更することによって、さらに大きくコストを下げることに成功しました(年間予算10万円以内)。このブリテンは京都クラブのホームページ <http://www.kyotoys.com/> では月初にご覧いただけます。このブリテンに関するご質問、ご意見、ご感想などございましたら、お気軽にブリテン編集長・三井哲次までお寄せください。お待ちしております。

Email : tanupon@mbox.kyoto-inet.or.jp

**7月新入会メンバーご紹介**

氏名：宮脇 優弥  
 Miyawaki Yuuya  
 生年月日：1985年 7月22日  
 メネット：宮脇 扶美子  
 Miyawaki Fumiko  
 生・月日：10月10日  
 スポンサー：坂口 大輔  
 住所：京都市下京区七条御所ノ内



E-mail : yuya.yuhi@gmail.com  
 勤務先：ルーフメンテ宮脇(建築板金)  
 一言：この度入会いたしました宮脇雄弥と申します。人付き合いが不得意ですがボランティアに興味があり坂口君の勧めもあり入会いたしました。色々な人と出会っていき、繋がりをもち成長出来ればと思っています。色々知らない事、失礼な事があると思いますがこれから宜しくお願いいたします。

**2020年9月の予定**

1日(火)役員会 19:30～YMCA三条本館  
 8日(火)例会 19:00～H日航フリンセス京都  
 未定 京都クラブリトセンワーク 9:30～リトリートセンター

**2020年10月の予定**

6日(火)役員会 19:30～YMCA三条本館  
 13日(火)例会 19:00～H日航フリンセス京都  
 未定 ジャガイモファンド配送日